

凡 例

1. 本冊子は、2015年10月20日に開催された龍谷大学世界仏教文化研究センター設立記念シンポジウム「仏教を通じた日韓文化交流の歴史と展望—未来への伝灯—」において配布されたプロシーディングスの改訂版である。
2. 本冊子のページ番号については、使用時の利便性を考慮して通し番号にはせず、セクションごとにページ番号をふる形式をとった。
3. 宗浩師、姜文善氏、金浩星氏の講演原稿については、韓国語原稿を日本語翻訳稿の後に付した。
4. 漢字表記については、翻訳もふくむ日本語原稿の場合、一部の人名、学校名、書名を除き、原則、常用漢字に統一した。韓国語原稿に関しては、常用漢字への統一は行わず、旧字体もそのままとした。

目 次

基調講演

「韓日仏教交流 1500 年の記憶と未来」

宗浩（俗名：朴 文基、東国大学校佛教大学・佛教大学院長・宗学研究所長）…… 1

☆韓国語原稿 …………… 10

第一部 時を越える —仏教の研鑽—

「日韓仏教交流と高麗版大蔵経—室町・江戸初期の大蔵経の活用を中心として—」

馬場 久幸（佛教大学非常勤講師）…………… 1-1

「大衆仏教の巨星・元暁と親鸞—その生涯と精神・思想の共通性—」

藤 能成（龍谷大学文学部教授）…………… 1-19

第二部 境を越える —仏教の伝播—

「渡来系氏族と寺院」

赤羽 奈津子（龍谷大学仏教文化研究所客員研究員）…………… 2-1

「朝鮮開化期、日本仏教の布教活動—真宗大谷派と曹洞宗の布教—」

姜 文善（法名：慧源、東国大学校佛教大学教授）…………… 2-11

☆韓国語原稿 …………… 2-21

第三部 未来へ向けて —仏教の役割—

「韓国における児童生徒人権条例の内実化—京畿道における教員研修を中心に—」

出羽 孝行（龍谷大学文学部准教授）…………… 3-1

「韓日平和のための仏教の役割—『懺悔なき許し』の再解釈を中心として—」

金 浩星（東国大学校佛教大学教授）…………… 3-7

☆韓国語原稿 …………… 3-23